

会 議 議 事 録

件 名	神奈川県医療対策協議会
日 時	令和5年12月19日（金） 18:00～20:00
場 所	Zoomによるオンライン（配信会場：総合医療会館2階）

<概要>

(1) 協議事項

- ア 地域枠医師・自治医科大学卒業医師の配置について
- イ 令和7年度臨床研修医募集定員調整の基本方針について

(2) 報告事項

- ア キャリア形成プログラムの進捗状況について
- イ 地域枠医師について
- ウ 特定労務管理対象医療機関の指定について
- エ 第8次保健医療計画（医師確保計画）素案について

(3) その他

「医学生・研修医等向けセミナー」のご案内

(事務局)

この会議結果につきましては、非公開事項を除き、発言者の氏名を省略し、会議内容を要約した形で公開します。出席委員の皆様には、ホームページ公開前に内容の確認をお願いしていますので、よろしくお祈いします。本日の協議には非公開事案がございます。非公開事案を除き、原則通り公開します。開催予定を周知したところ、傍聴者はおりませんでした。

事務局からは以上です。今後の進行について会長、よろしくお祈いいたします。

(会長)

早速、議事に入ります。協議事項のア 地域枠医師・自治医科大学卒業医師の配置について 事務局から説明をお願いいたします。

(事務局)

【資料に基づき、協議事項のア 地域枠医師・自治医科大学卒業医師の配置について説明】

(会長)

ただ今のご説明について、何かご質問、ご意見はありますでしょうか。

(委員)

4ページで、県にお聞きしたいことがあります。

神奈川県で、我々の県央地区と県西地区は医師が少ないということは把握していると思います。地域ごとに、何人くらい派遣しようかなと考えているのでしょうか。というのは、ここに書いてある地域枠医師の意向を尊重して、なるべく、医師少数地域に行かせたいと記載があります。そうなった場合に、

前から懸念しているのですが、大学病院の関連している病院に希望する人が多いと考えています。全体的に、地域枠医師は神奈川県の中であればどこでも良いというのであればよいと思いますが、そもそも論は医療支援の少ないところに、置きましょうということになっていると思うので、それに関して県はどのように考えているかをお願いします。

(会長)

ありがとうございます。事務局からお願いします。

(事務局)

ご意見については課題認識していることです。現行のキャリア形成プログラムについては、特段、地域を限定する制度にはなっていません。そこで、後ほど報告事項としてご説明させていただきますが、見直しをしている最中でございます。医師偏在指標に基づいて、神奈川県の中で比較的医師が足りない地域に地域枠医師を配置することを検討しているところでございます。現状としては、特段、計画は定めていないという回答となりますが、現在そういったことを見直しのしている状況でございます。

(会長)

ありがとうございます。今、おっしゃっていただいたことは、みんなが思っていることだと思います。委員からの意見を踏まえたうえで検討をよろしくをお願いします。

つづいて、協議事項 イ 令和7年度臨床研修医募集定員調整の基本方針について 事務局から説明をお願いします。

(事務局)

【資料に基づき、協議事項のア 地域枠医師・自治医科大学卒業医師の配置について説明】

(会長)

ただ今のご説明について、何かご質問、ご意見はありますでしょうか。

(委員)

県の基本的な考え方の中で、まとめのところに記載されている定員枠外配分廃止の通知が大変気になります。こういったことに引かかる研修病院は、大変小さい病院や、自院で医師を養成しようという志があるにもかかわらず定員に満たない中小規模の病院が、数多くあるのではないかと思います。そうしたところには、なかなか地域枠医師等も積極的に行くことにならない状況もございます。是非、定員の枠内で加算する方法をとるといふ、県の考え方に私は賛成でございます。

(会長)

ありがとうございます。事務局からお願いします。

(事務局)

ご意見ありがとうございます。参考にさせていただきつつ、調整を進めたいと思います。

(会長)

事務局は委員の意見を踏まえて、調整を行ってください。

続きまして、報告事項 ア キャリア形成プログラムの進捗状況について 事務局から説明をお願いします。

(事務局)

【資料に基づき、協議事項のア 地域枠医師・自治医科大学卒業医師の配置について説明】

(会長)

ただ今のご説明について、何かご質問、ご意見はありますでしょうか。

(委員)

地域医療支援センターの運営委員会の委員長をしております。

今回はキャリアコーディネーターの先生方がほぼ出そろって、顔を出していただいてご意見をいただく貴重な機会がございました。先程出ていたようなご意見の中で、多くの先生方がいきなり人事権ということではなく、先ずは地域枠の医学生、医師と向き合っていこうというご意見と感じました。その中でキャリアコーディネーター間で意見交換ができるような共有の相談の場が出来ないかというリクエストがございました。地域枠医師は医学生の内から様々な意味で地域医療への貢献を刷り込んでいくことが必要であるのご意見もありました。そのあたりの声を活かしながらやることが必要ではないかと思いました。

最後に、市大の地域医療枠の考え方ですが、お金を出していないから縛り付けられないという理屈は、私は個人的には違うと思っています。お金ではなくて、使命で枠を作っているわけですから、そのあたりに関しては、地域医療枠医師として、9年間終了したところで知事の修了書を作るなど、色々なアイデアはできると思います。就学資金を出している医師を先行して議論して、地域医療枠医師についても間髪を入れなくて、翌年、翌々年には検討を開始する。何年間も縛り付けない状況を回避すべく、後出しジャンケンにならない程度に議論することが必要であると思っています。

(会長)

ありがとうございました。

その通りですね。お金で縛るのではなくて、使命として入ってきているので、その辺のところを応援してあげたいと思います。

(委員)

先程のご意見と連動するのですが、事前に質問した項目はとても大事なことであると思っています。今日、残念ながら、地域医療枠学生の手引きが無くて皆様ピンと来ていないかも知れませんが、確かこれは様々な議論の末に手引きを地域医療枠の学生さんにも適用しようということで、出来上がっているものなのです。令和2年度以降の入学者については、県内どこかに居ればいいというよりも、踏み込んで、医師不足地域で4年間の就業が必須となりました。これは医療法の改正と連動している変更でした。こうしたところまで、手引きを作って、案内しています。そのような案内をしているにもかかわらず、年度が経って今回の考え方だとやや後退している印象を持ってしまいます。それは受け入れがたいし、

今までの議論の積み重ねを後退させるものであると思うので、遠慮せずに、しっかり前向きに向き合っ
てご説明して納得していただくことが必要であると思います。

(会長)

ご意見ありがとうございます。

これについて事務局よりお願いします。

(事務局)

ご意見ありがとうございます。

地域医療枠についても検討をしております。現在は地域枠から進めておりますが、地域枠のめどが立
ちましたら、当然、地域医療枠についても、進めていこうと思っております。その時は、改めて、ご議
論をお願いします。

(会長)

ありがとうございます。

つづいて、報告事項イ 地域枠医師について 事務局から説明をお願いします。

(事務局)

【資料に基づき、報告事項イ 地域枠医師について説明】

(会長)

事務局からの説明に対して、ご質問等ありましたら、お願いします。

(委員からの意見なし)

(会長)

つづいて、報告事項ウ 特定労務管理対象医療機関の指定について 事務局から説明をお願いします。

(事務局)

【資料に基づき、報告事項ウ 特定労務管理対象医療機関の指定について説明】

(会長)

事務局からの説明に対して、ご質問等ありましたら、お願いします。

(委員からの意見なし)

(会長)

つづいて、報告事項エ 第8次保健医療計画（医師確保計画）素案について 事務局から説明お願
いします。

(事務局)

【資料に基づき、報告事項エ 第8次保健医療計画（医師確保計画）素案について説明】

(会長)

事務局からの説明に対して、ご質問等ありましたら、お願いします。

(委員からの意見なし)

(会長)

それでは、最後の（3）その他ですが、医学生・研修医向けセミナーについて委員から説明をお願いします。

(委員)

【資料に基づき、医学生・研修医向けセミナーについて説明】

(会長)

第2部の“日本一ホワイトな救急”というのは、ブラックに対してホワイトということですかね。

(委員)

おそらくそういうことを仰っていると思います。タイトル等の真意については確認していませんが、以前、働き方改革の議論の中でB水準はブラックだという話題が出ていた時期もあります。そういうことではないと思いますが、ブラックとか、ホワイトという表現を使うのが若い先生方には関心話題があるのかなと思うので、私も興味深く聞かせていただこうかと思っています。

(会長)

以上を持ちまして、議事を終了します。

委員の皆様、円滑な議事のご協力、ありがとうございました。

(事務局)

委員の皆様、長時間にわたり、ありがとうございました。

医師確保・養成につきましては、着実に前に進んでいると、私は感じているところです。それも、ひとえに皆様のご意見があって、ご協力いただいていることと、痛感しております。引き続きよろしくお願いたします。

これを持ちまして、本協議会を終了いたします。本日はありがとうございました。